

河合町公共施設等総合管理計画の概要

将来へ向けたこれからの取組み

1. 計画の背景

p.1

河合町における公共施設の状況

高度成長期に集中的に整備され、その当時の社会情勢や町民の需要を反映しています。

問題①財政への過大な負担

一斉に建替え時期を迎え、多額な費用の発生が集中。

問題②行政サービスの劣化

町民需要の変化に対して、公共施設による行政サービスが対応できず満足度が低下。

課題解決のため

河合町公共施設等総合管理計画

河合町にふさわしい公共施設のあるべき姿を目指すため、公共施設等の効率的かつ効果的な維持管理を行い、長期的な視点をもって、公共施設等の更新、統廃合、長寿命化等に計画的に取り組み、公共施設等の最適化及び有効活用を図るため、「河合町公共施設等総合管理計画」を策定するものです。

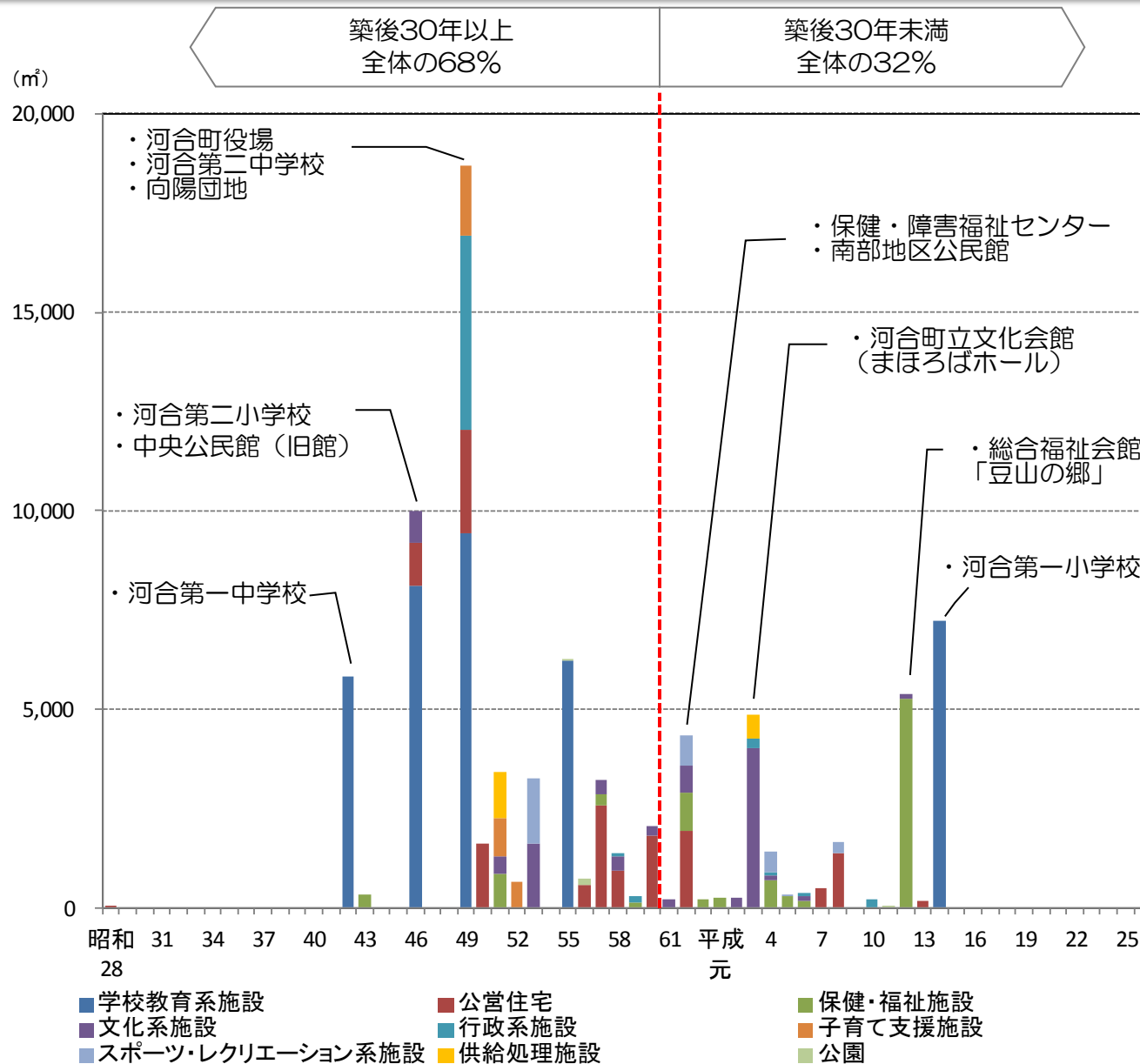
2. 公共施設等の現況

整備状況

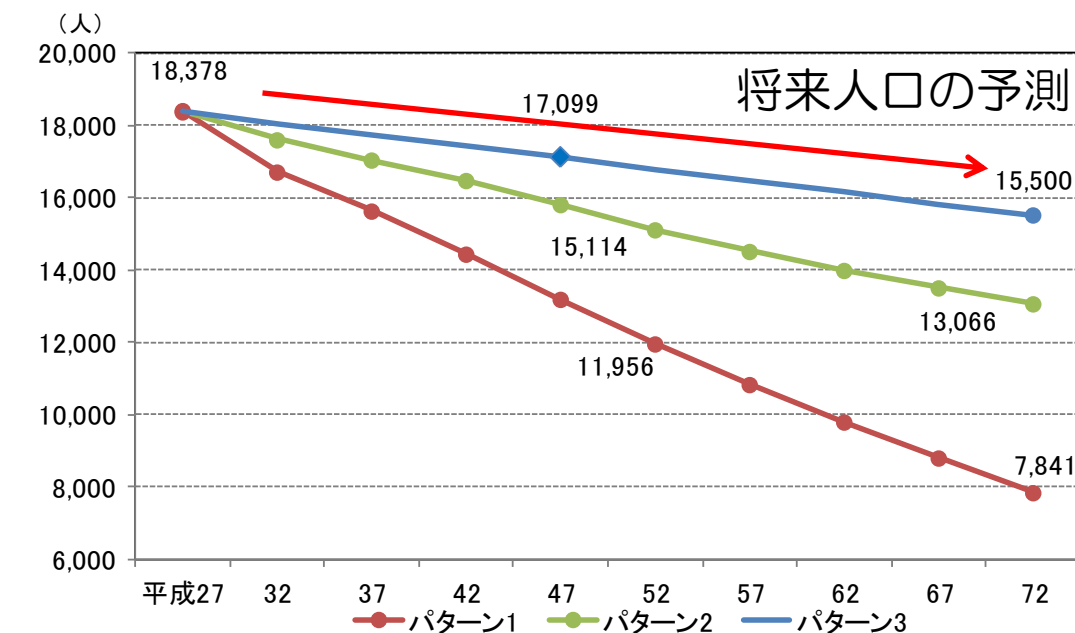
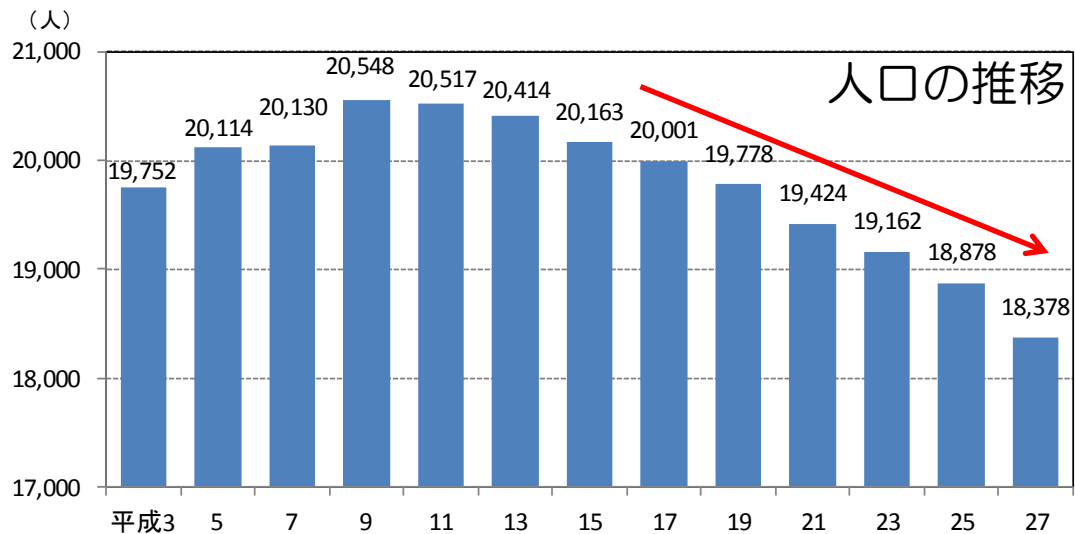
小学校、中学校、町役場等の大きな施設が昭和40～50年ごろに整備されており、築後30年以上経過した施設が約7割を占めます。

更新の集中

今後、公共施設の老朽化が進行し、**建替え、修繕が集中**することが予測されます。



3. 人口



人口の推移

平成9年の2万548人から平成27年には**1万8,378人**まで減少しました。



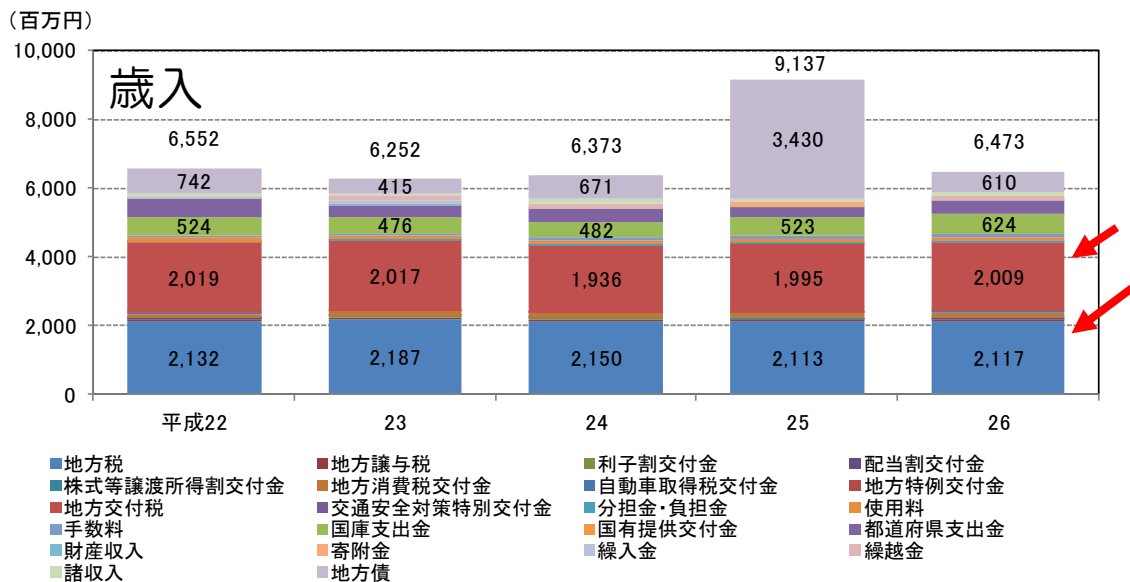
将来人口の予測

平成47年度には**1万7,099人**まで減少する予測となっています。

人口構成予測

平成47年度には、**全人口の4割が65歳以上**となる予測となっています。

4. 財政

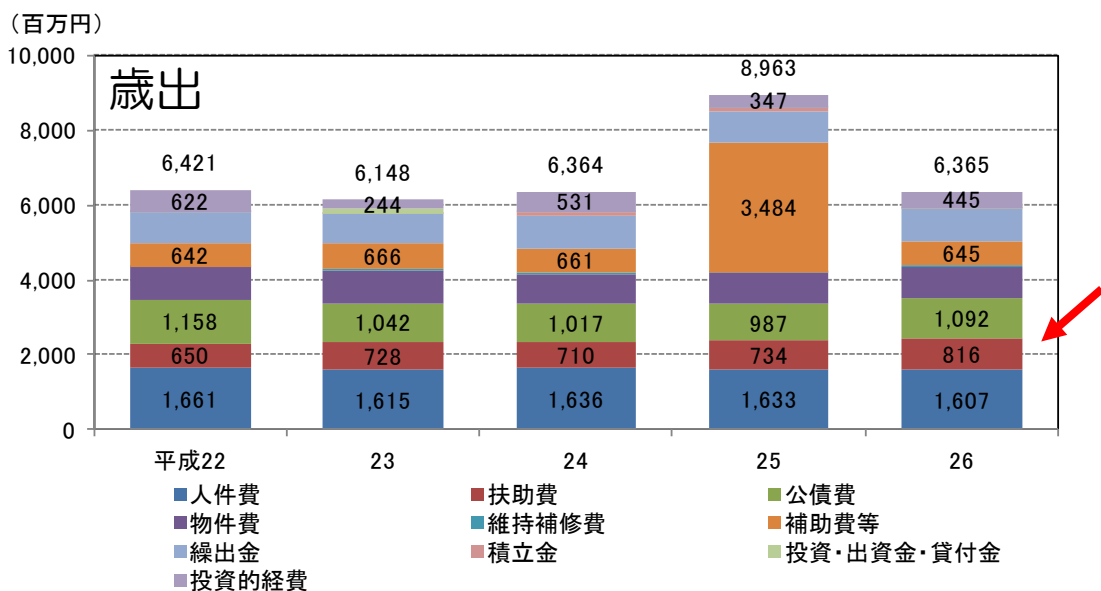


歳入

自主財源である地方税は減少傾向にあり、依存財源は、増加傾向です。

歳入の見通し

今後、地方税等の税収は、生産年齢人口の減少に伴い、**更に減少していく見込みです。**



歳出

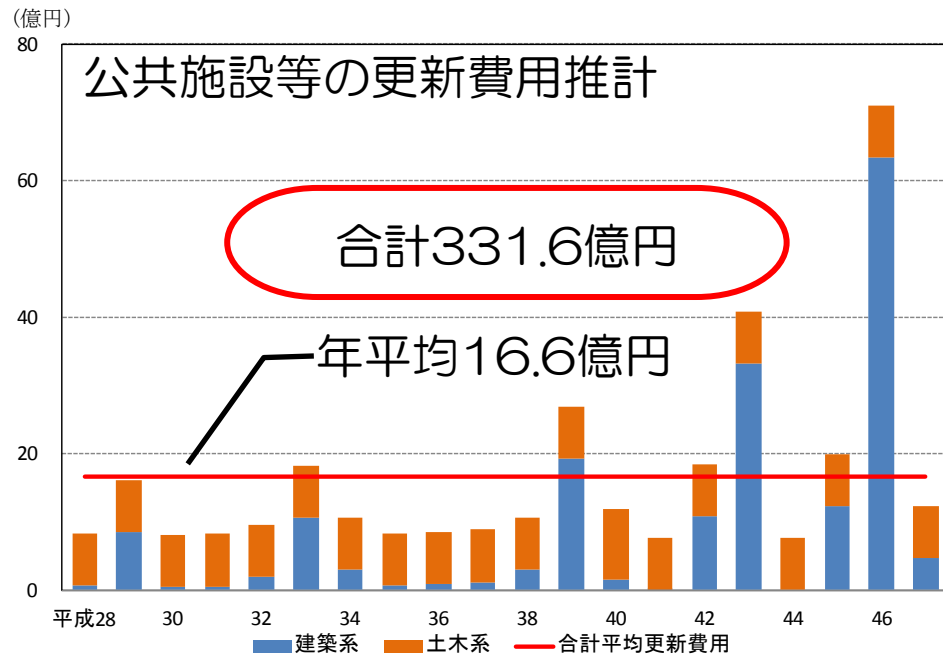
扶助費（社会保障費）は増加傾向です。

歳出の見通し

今後、少子高齢化により、社会保障費が増加する見込みです。

5. 公共施設等の更新費用推計

今後20年間の年間平均更新費用は、約16.6億円と予測され、**年間約11.2億円**の不足額が発生することが想定されます。



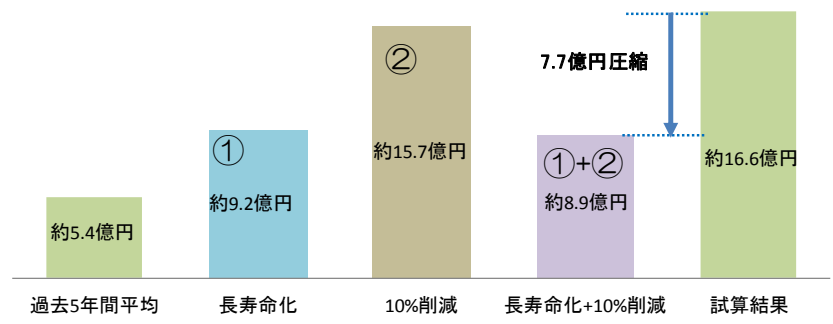
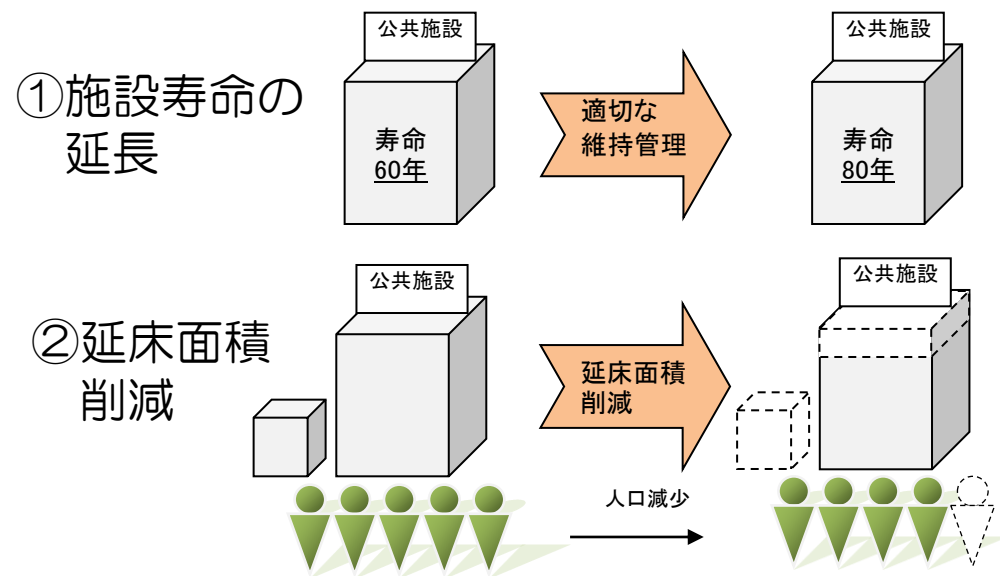
従来通り

約11.2億円不足
→ 財政へ影響大

手法①+②

約8.9億円まで
圧縮が可能

費用削減は、2つの手法を進めます。



6. 公共施設等の管理に関する基本方針

課題

公共施設の更新費用不足

急速な人口減少と高齢化

厳しい財政状況

計画期間

平成28年度から
平成47年度までの**20年間**

実施方針

点検、維持管理、長寿命化、統合
や廃止等の7つの実施方針を定め、
計画を推進します。

全庁的な取り組み体制の構築

公共施設マネジメントに取り組む
全庁的な体制を構築し、公共施設
等のあり方について意見調整・町民
意向調査を行います。

基本方針①安全性・快適性の確保

施設の劣化を防ぎ、町民及び利用者に安全かつ快適な
空間の提供に努めます。

基本方針② 公共施設等全体の効率化

施設の設計を将来的な需要変化による用途転換に対応
できる構造とすることにより、稼働率向上を図ります。

基本方針③ 公民協働の推進

PPP/PFIによる民間活用、地域コミュニティによる施
設の維持管理等を検討し、公民協働を推進します。

フォローアップ

策定後、実施状況の評価・検討・見直しを行います。

7. 施設類型ごとの管理に関する基本方針

<p>学校教育系施設</p>	<p>教育環境などを勘案し、3校ある小学校を2校に、2校ある中学校を1校することを基本とします。 小中一貫校教育についても視野に入れながら、学校の再編を進めていく方針です。</p>	<p>子育て支援施設</p> <p>西穴闇保育所と河合幼稚園を統合し、「認定こども園」を平成31年度に開園する予定です。 西穴闇児童館については、老朽化対策、耐震化が必要ですが、今後の利用状況によっては、他施設との複合化を検討します。</p>	<p>公営住宅</p> <p>「河合町公営住宅等長寿命化計画」にて定めた計画方針に則り、施設の維持管理を行います。 改良住宅については、居住者の意向、地域の住宅事情等を踏まえながら譲渡処分についての詳細な計画を検討します。</p>
<p>文化系施設</p>	<p>利用状況、建物性能、地域特性等を含めて、他施設との複合化を前提として検討します。 西穴闇地区について数ヶ所ある集会施設を1ヶ所にし、残りの集会施設は用途変更して活用等の検討をします。 河合町立文化会館（まほろばホール）は利活用を促進します。</p>	<p>保健・福祉施設</p> <p>老人福祉センターについては、利活用を検討する中で、老朽化等により、維持継続が困難な場合には、「シルバー人材センター」と協議の上で廃止を検討します。 総合福祉会館「豆山の郷」は、修繕計画を立案し、費用の平準化を図ります。 西穴闇共同浴場については、自治会と協議の上で廃止を検討します。</p>	<p>公園</p> <p>公園施設における建物については、小規模であることから、継続維持としますが、不具合等が発見され、早期に修繕が実施できない場合は、公園の安全確保のため、使用中止を検討します。</p>
<p>スポーツ・レクリエーション系施設</p>	<p>河合町立体育館については、2次広域避難所であることから、防災計画を勘案し、老朽化対策、耐震化を進めます。 他スポーツ施設については、近隣市町の同種施設との相互利用を検討し、施設規模の総量抑制を図ります。 体験農園については、今後も健全な運営に努めます。</p>	<p>行政系施設</p> <p>庁舎については、平成29年度に耐震化工事の実施を予定しております。今後、庁舎については、本計画期間内に耐用年数60年を経過することにより、建替えを検討する時期を迎えることとなりますが、適切な維持管理及び修繕を施し施設の延命を図ります。</p>	<p>供給処理施設</p> <p>清掃工場については、将来的に近隣市町において広域処理へ移行（平成35年度予定）することが、検討されており、移行に対応した整備をしていく方針です。 粗大ごみ処理施設については、粗大ごみ処理施設の長寿命化を図るため、施設の管理を行います。</p>

8. むすびに

- 本町の公共施設等を詳細に調査・分析した結果、その多くが老朽化しており、その建替えにより、財政に多大な影響を与えることがわかりました。
- その全てを建て替えるため、莫大な借金をする。または、何もせずにそのままにしておくことは、結果、将来の世代へ多大な負担を強いることとなります。
- 将来の世代への負担を減らすために今から取り組むべき方針について記載していますが、いずれも町民の皆さまのご協力がなければ達成できません。また、達成状況や町を取り巻く社会情勢の変化を勘案し、計画の見直しを行い、再度実行することにより、持続可能な行政サービスの実現を図らなければなりません。

平成30年度までに優先的に方針を示します。

- ・ 小中学校
- ・ 河合町立文化会館
- ・ 町民プール
- ・ 幼稚園、保育所、認定子ども園
- ・ 西穴闇児童館
- ・ 総合福祉会館
- ・ 西穴闇共同浴場
- ・ 心の交流センター

上記以外の施設については、平成33年度までに方針を示します。

策 定：平成29年03月

編集発行：奈良県河合町 TEL 0745-57-0200（代表）

URL：kouhokawai@town.kawai.nara.jp

※本資料内の図表に記載の数値や割合（％）を四捨五入により算出しているものは、各内訳数値の合計が合計値と一致せず又は各内訳の割合の合計が100%にならない場合があります。